



保育園での異文化体験エピソード

その1 食の温度差



イラスト・うつろあきこ

ある日、中国人の子どもが年長クラスに入園してきました。そこで、クラスみんなでサンドイッチとおにぎりをつくって、歓迎会を開きました。ところが…!

それを見たご両親がショックを受けて、怒りはじめました。

「こんな仕打ちを受けるなんて！」

子どもたちは、何が悪かったのかわからず、びっくりです。

なぜ、彼らは怒ったのでしょうか？

じつは、中国の方々は、基本的に冷たいご飯は食べないのです。主食も副食も、必ずあたたかく調理をしたものばかりです。そう考えると、日本の料理には、鮮度を売りにした冷たいものが少なくありません。

そこで、日本の食文化をご両親によく説明したところ、納得していただきました。

職員会議でも、「食の温度差」が意外にあることを話し合ってみましょう。

説明すれば、中国の人も、コンビニのおにぎりなども「OK！ 大丈夫」になってきますよ。

(保育国際交流運営委員会前委員・齋藤祐善)

「地球家族ネットワーク」へのお誘いとエピソードのお願い

保育は、世界中の人と仲よく生活できること（平和）を伝える役割があります。

そこで、国際交流や外国籍の子どもたちの保育について情報交換をしたい方は、「地球家族ネットワーク」に参加してみませんか？!

また、外国籍の子どもを受け入れて、心に残るエピソードがありましたら、ぜひお寄せください。

全私保連 保育国際交流運営委員会

TEL 03-3865-3880 / FAX 03-3865-3879

E-mail : ans@zenshihoren.or.jp